

ベジ・アンケート
1. 名前 2. 年齢 3. 国 4. 職業
5. ベジタリアン歴 6. ベジタリアンになったきっかけ



1. リサ・グリーン 2. 27 歳
3. オーストラリア出身 最近
イギリスに引っ越した 4. 最
近までアニマルシェルターで
ビューティ・エデュケー
ターをしていた 5. 1995 年に
ベジタリアンになり、養鶏や
酪農業での動物の惨状を知り
1998 年にビーガンに 6. 副
作用として喘息が治ったし、
ビーガンというライフスタイル
は環境によい点がたくさん
ある



1. ミリアム・カプラン 2. 60
歳 3. ニューヨーク市ブル
ックリン 4. 看護士 5. 1974 年
にベジタリアンになり、1990
年にビーガンになった 6. ベ
ジタリアンになったきっかけ
は動物の命のことを考えて



左) 1. スシアント・ツェン 2.
43 歳 3. インドネシア 4. 化
学エンジニア インドネシア・
ベジタリアン協会代表 IVU
東アジア・東南アジア・オセ
アニア地域担当コーディネー
ター 5. 3 年前からビーガン
6. 20 年前、大学生として食
物学を勉強していたときに肉
食に関連する多くの病気があ
ることを知ったことがきっか
けでベジタリアンになった。
栄養学の理学修士過程ではベ
ジタリアンの子供の栄養につ
いて研究。インドネシア・ベジタリアン協会では 2 万人の
生涯会員がいる。その他 4 万人がデータベースに登録して
いて、必要に際してベジタリアンが他のベジタリアンから
輸血を受けることができる仕組みもある。

右) 1. シャンカー・ナラヤン 2. 41 歳 3. インド 4. IVU の
インド地域担当コーディネーター 5. 41 年 6. 生まれたと
ころからベジタリアンだったが、マハトマ・ガンジーの伝記
を読み、自ら倫理的ベジタリアンになることを決意。インド
ではベジタリアンをやめてしまう若者が多く、ベジタリ
アン運動に取り組んでいる人は少ない。ましてやビーガン
となるとまだインドでは目あたらない。シャンカーは
1993 年にインドにベジタリアン協会を設立し、2004 年
にはインド・ビーガン協会を設立。学校や大学、講演会な
どをとってインドのベジタリアン運動・ビーガン普及
に取り組んでいる

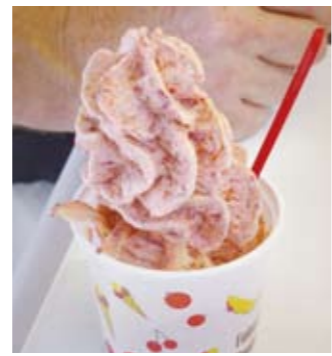


左) 1. ロベルタ・シフ 3. ア
メリカ、ニューヨーク州
4. Mid-Hudson Vegetarian
Society 副会長 5. 約 15 年前
にベジタリアンになった。ロ
ベルタ・カレチヨフスキーの
"Vegetarian Judaism" を読ん
だのがきっかけだったが、そ
の後その他の本や記事を読ん
で、畜産業の環境への多大な
悪影響についても学んだ。娘
のひとりがビーガンになり健
康状態がよくなり自分もビー
ガンを試したところ、リウマ
チや副鼻腔炎が治った。2001 年にペンシルベニアのベジ
タリアン・サマーフェスト・カンファレンスに参加して
ethical vegan になった。

右) 1. ギド・バース 2. 45 歳 3. ドイツ、ハンノーバー 4. アー
ティストなどを取材するジャーナリスト 5. ベジタリアン
歴 18 年、ビーガン歴 7 年 ドイツ・ベジタリアン協会に所
属していて、今回のコンGRESではボランティアとしてコ
ンサートなどをコーディネートした。趣味は合気道。

世界のベジイナ人たち

最新グローバルなベジタリアニズム溢れる人たちがどっどどんな人たちがだろっ？
そんな、皆さんの気になる疑問に答え、世界各国のベジイナ人々を紹介いたします。



7/31
(Thursday)

朝食はホテルでホットミールをいただき、ソイヨーグルトとフルーツをテイクアウトした。

午前中は、食と環境に関する講演や、食事が心やライフスタイルなどに与える影響についてのプレゼンを聴講した。昼食は山盛りサラダとフルーツ、ソイドリンク。昼食後、会場外に出ているビーガンアイスクリームの屋台でキャロットアイスクリームをいただく。暑さも手伝って、アイスクリーム屋のおじさんは忙しそうだった。この日の午後は興味深いレクチャーが同時進行で目白押ししており、どれを聴きにいくか迷った末、「動物実験と医薬」「ヨーロッパのベジタリアン推奨マーク運動」「ベルギーのベジタリアン運動」に関する3つのレクチャーを聴講した。どれも大変勉強になり、特にベルギーの運動はノンベジの人にリーチするという点では大変成功しているもので、聴衆も世界各国のベジタリアン団体関係者などが多く、熱心に耳を傾けたり質問をしたりしていた。夕食は大盛りサラダと、ニンジンやグリーンピースの寒天よせのようなお料理をいただいた。この日の夕食後のエンターテインメントはベジタリアンのフォークミュージシャンによるケルト音楽の演奏だった。

8/1
(Friday)

早朝、エルベ川沿いをジョギングして、朝から汗をたくさんかいた。この一週間晴天がつづき、日差しも強く、暑い毎日が続いた。午前中は有名な神学者によるレクチャーがあり、倫理的観点からみた動物と人間というテーマで興味深いプレゼンテーションがあった。昼食は友人と近くのベジタリアン・フレンドリーなレストランAHAのサラダバーで。午後には、日本ベジタリアン協会会員の石川和幸さんによる禅と精進料理に関するプレゼンがあった。30～40人ほどが熱心に聴講しており、日本の食文化に対する関心が高かった。その他、「ベジタリアニズムとエスベラント」「インドネシアの食文化の子供たちの栄養」といった興味深いテーマの講義を聴講した。レクチャーがすべて終了し、閉会式ではボランティアとしてこのコンGRESを運営してくれたオーガナイザーやスタッフの人々に拍手喝采が送られた。閉会式後はおわかれパーティーをかねた夕食会。メニューもこれまでより豪華で、ベジタリアン巻き寿司やトルティーヤ・ラップ、ソイハンバーグなどもあった。大勢の人が食堂に集まって、写真を撮りあったり別れを惜しんだり、夜遅くまでにぎやかなパーティーだった。

8/2
(Saturday)

この日はポスト・コンGRESのイベントとしてオーガナイザーがアレンジした観光ツアーに参加する人、ツアーとは別に仲間と旅を続ける人、帰途に着く人と、各人各様となった。私は朝ホテルをチェックアウトし電車で空港に向かい、ルフトハンザ航空でドレスデン→ハンブルグ→成田の帰国の途についた。



列車でドレスデンに到着。ホテルにチェックインをして、コンGRES会場に向かう。登録を済ませ、食堂でビュッフェ・スタイルの夕食をとる。サラダの大盛りとドイツパンにペーストを塗ったもの、食後のデザートにはバニラ味のクリームにベリーソースをかけていただいた。

ドイツはパンをたくさん食べる国なので、パンに塗るヴィーガンのペーストがとても豊富でおいしかった。夕食の後は開会式に出席。ドレスデン市長やドイツ・ベジタリアン協会代表、ヨーロッパ・ベジタリアン連合代表らによる歓迎のスピーチがあり、またベジタリアンやヴィーガンのアーティストによる演奏も披露され、晴れやかな雰囲気だった。

7/27
(Sunday)



7/28
(Monday)

早朝、人気のない観光名所を抜け、さらにエルベ川沿いを走りジョギングをした。

ホテルでは毎朝ビーガンの朝食をビュッフェ・スタイルで出してくれる。ドイツの黒パンやカイザーロール、パンに塗るペーストやクリームチーズ風のスプレッド、ビーガンハム、生野菜、果物、ソイヨーグルト、そしてホットミールが一品出される。この日は、クリームチーズを塗ったパン、豆腐と野菜のホットミールと果物をいただいた。午前中は9時15分よりレクチャーが開始。メインホールでアニマルライツに関するレクチャーを2本聴講。12時からランチ・ブレイク。サラダとデザートのココナッツ・ブディングをいただいた。

午後2時からレクチャーが再開。食肉産業が環境に与えるダメージを論じた「食と環境」に関するレクチャーと、ブラジルでのローフードを医療に取り入れた試みに関連するレクチャーを聴講した。夕方は食堂でティーブレイクをとりながら他の国の参加者とおしゃべりしたり、会場内のブース巡りを行っているうちに夕食の時間に。インドネシア・ベジタリアン協会代表者と、生まれてから75年間ベジタリアンで両親(105歳と98歳)もベジタリアンというドイツ人女性と歓談しながら食事。夕食後はアジアのベジタリアン団体とのミーティングに出席。今後のアジア・ベジタリアン連合の方針などについて話し合いを持った。

7/30
(Wednesday)

中日として水曜日はあまりレクチャーが行われず、大勢の人は午後からツアーなどで観光をしていた。

私はエルベ川沿いをジョギングをした後、午後は美術館や教会、自然食料品店巡りなどを楽しんだ。夕食はコンGRES会場の食堂で軽くサラダをいただいた。夜はメインホールで行われたドイツ人のベジタリアン・ミュージシャンによるロックコンサートを聴きに行った。



7/29
(Tuesday)

旅の疲れが出たので朝はゆっくりし、昼から会場に行った。昼食は大盛りサラダとラザニアをいただいた。午後2時から、シンガポール・ベジタリアン協会代表のレクチャーや、宗教にみる倫理的ベジタリアニズムに関するレクチャーを聴講。午後4時からは、IVUの総会に出席。会計・活動報告、評議員の選出などが行われた。



第38回IVUワールド・ベジタリアン・コンGRES2008に参加して
日本ベジタリアン協会の方が参加された第38回IVUワールド・ベジタリアン・コンGRES2008。
スケジュール内容、各国最新のベジタリアン情報、様々なレクチャーを1週間レポートしていただきました。